

## 令和元年第三回定例会 提案理由説明書

令和元年第三回定例県議会の開会にあたり、県政諸般の報告を申し上げ、あわせて今回提出しました諸議案について説明申し上げます。

### 1 県政諸般の報告

#### (1) ラグビーワールドカップの開幕

いよいよ3日後、アジア初となるラグビーワールドカップ2019日本大会が開幕します。大分県では、準々決勝2試合を含む計5試合が開催され、本県の元気づくりと情報発信に、大いに貢献してくれると期待しているところです。

振り返れば、5年前、大分県への大会招致を求める12万人を超える県民署名が集まり、また、県議会におかれても、大分での開催実現に関する決議を全会一致で可決していただくなど、県民の皆さん一丸となって、後押しをしていただきました。開催決定後も、関係者がスクラムを組んで取り組んだ結果、会場整備や交通輸送のプランも順調に進み、また、県内各地の宿泊、飲食、観光施設の対応や、ファンゾーンをはじめ、おもてなしエリアでの準備も着々と進み、万全の態勢で、世界中から来訪者を迎える準備が整ってきました。

また、県立美術館では、大会開催に合わせて、外国の方々にも人気のある浮世絵や刀剣などの展示会を開催し、大会を盛り上げます。

世界が注目するラグビーワールドカップの開催は、本県にとって、またとない経験です。大会自体の成功のみならず、この経験を積極的に活かし、将来に二つの大きなレガシーを残したいと考えています。

一つは、ラグビーの魅力と感動を、世界の人々と分かち合うことです。ラグビーは、「品位・情熱・結束・規律・尊重」という精神を大切に守り、受け継いでいます。前回のイングランド大会では、日本代表の最後まで諦めないフェアプレーに、世界中の人々が心を打たれました。こうしたワールドワイドな価値観や感動を、世界のラグビーファンと共有し、本県のスポーツ振興を図るとともに、各分野でグローバルに活躍できる人材の育成にも、つながることを期待しています。

もう一つは、観光振興、特にインバウンドの多角化です。本県の昨年のインバウンド宿泊者数は、過去最高の144万人に達し、その約9割がアジアからの宿泊客となっています。そうした中、ラグビーワールドカップ期間中のインバウンド宿泊者は、大半が欧米や大洋州からと見込まれており、大会開催を機にアジアからの誘客に加え、欧米や大洋州からの誘客拡大を図り、インバウンドを勢いづけていきたいと考えています。

観光振興と言えば、来月、もう一つ大きなチャンスがやって来ます。第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会が、姫島村や豊後大野市等を会場に開催されます。本大会には、約2千人の参加が見込まれており、特徴的な地形・地質をはじめ、地域の文化や食を織り込んだジオツアー等を実施し、大分県の魅力を全国に発信します。

こうして、内外から多くの来訪者をお迎えし、大分ならではのおもてなしと県内各地の多様な観光資源に大いに満足していただくことで、大分のブランド力を高め、さらに

多くの人々を惹きつけ、大分県版地方創生を加速前進させてまいります。

## （２）景気動向について

ラグビーワールドカップの準備とあわせて、消費税率の引き上げへの対応も待ったなしです。消費増税が、できるだけ景気の冷え込みを招かないよう、的確に対応しなければなりません。特に現在は、米中貿易摩擦の長期化や日韓関係の悪化等の下振れリスクを抱えており、十分に注意していかなければならないと考えています。

そこで、国が消費の落ち込みを防止する対策として進めているキャッシュレス・消費者還元事業について、県としても、商工団体や金融機関と連携し、中小・小規模事業者のキャッシュレス決済の導入を促進しています。本県独自のキャッシュレス化推進パートナーによる支援等により、クレジットカード決済が可能な飲食店数の、昨年９月から今年８月までの伸び率は、全国で本県が最も高くなるなど、県内事業者のキャッシュレス決済は着実に広がりを見せています。キャッシュレス決済は、増加傾向のインバウンド消費を如何に獲得するか、という視点からも大変重要なツールになることから、引き続き、導入の促進を図ってまいります。

さらに、中小企業等の消費税の適正な転嫁対策や、円滑な軽減税率導入も大切です。今年２月には、県庁内に消費税率引上げ等に伴う庁内対策本部を設置するとともに、商工会、商工会議所と連携し、セミナーの開催や専門家派遣等により、制度の周知を図り、個別相談にも対応するなど、地域経済を支える地場企業の経営力強化に努めています。

景気対策として、公共事業による需要拡大も大事です。本県では、先般の補正予算において、強靱な県土づくりを強力に進めるため、公共事業を大幅に増額したところですが、これは、防災、減災に向けた取組であるとともに、消費税率引上げへの対応としての、景気の下支えも念頭に置かれたものです。そのため、工事の早期発注に努めるとともに、施工時期の平準化にも意を用いて事業を進めているところです。

## （３）先端技術への挑戦

このように、景気動向にも目配りし、地方創生を推進していますが、今年度の重要なテーマとして、先端技術への挑戦にも取り組んでいるところです。

先般、県内の企業経営者の方々と共に、カリフォルニアのシリコンバレーを訪問しました。今回の訪米では、グローバル教育分野で、スタンフォード大学の教育研究グループと県内高校生をつなぐ遠隔教育プログラムについての合意や、災害対策及び人材育成分野で、世界的なソフトウェア企業のSAPと相互協力協定を締結しました。加えて、世界最先端の技術を活用し、暮らしや社会にイノベーションを起こそうと取り組んでいる現地企業や、そうした企業を支えるベンチャーキャピタリストも訪問し、先端技術の最前線を見聞してまいりました。

シリコンバレーは、これまで、様々な技術をテーマに成長し、発展してきました。はじめは、ICやパソコン、その後、インターネット、ソーシャルメディアへとテーマを変えながら、情報通信技術で世界をリードしてきたところです。

そして今、シリコンバレーのテーマの中心は、IoT、ビッグデータ、AI、ロボッ

トなどへと移っています。これらの先端技術は、農、商、工の産業分野はもちろん、医療、介護等の生活分野や、さらには、物流や交通などの社会インフラ分野にまで広がり、あらゆる分野の技術的な基盤として活用され始めています。このように、シリコンバレーは、テーマを広げて、様々な分野を自らの市場に取り込み、今後も成長を続けようとしています。

われわれは、あらゆる分野に広がりをもつこの先端技術に挑戦し、また、遅れをとらないよう、むしろ積極的にしっかりと対応しなければならないと、思いを新たにしたところです。

#### (4) 平成三十年度決算について

こうして、私どもは、安心・活力・発展の大分県づくりに取り組んでいますが、先般、平成三十年度決算がまとまりましたので、報告いたします。三十年度は、前年の九州北部豪雨災害等の自然災害からの復旧・復興に引き続き取り組むとともに、プラン2015のさらなる取組、加えて、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催、県立武道スポーツセンターの建設などにより、歳入、歳出の決算額はともに前年を上回りました。そのような中で、実質収支は黒字を確保し、財政調整用基金残高は目標を上回るなど、必要な施策の積極的な展開と財政の健全性の両立を図ることができました。

令和元年度については、喫緊の課題である強靱な県土づくりに向けて、必要となる対策を時機を逃すことなく強力に推し進めるため、県債の残高は増加することとなります。そうした中であっても、県債残高の適正管理と財政調整用基金の目標額確保に努めるなど、引き続き、大分県版地方創生を下支えする財政基盤の健全性を保ちながら、県政運営にあたってまいります。

## 2 提出議案の説明

次に、提出しました諸議案の主なものについて、その内容を説明申し上げます。

### (補正予算案の概要)

はじめに、第85号議案 一般会計補正予算です。今回補正します額は、36億2,567万円であり、これに既決予算額を加えますと、6,499億6,767万円となります。

今回の補正予算の内容は、まず、平成二十九年の九州北部豪雨で被災した日田市の小野川及び有田川の復旧事業についてです。より高い防災効果を発揮できるよう、模型実験による効果解析等を踏まえた流木捕捉工や現場地形に対応した護岸工等を実施するため、必要な工法変更等を行います。

あわせて、三十年度の決算剰余金の処分について提案させていただいています。条例に基づき、剰余金の三分の一を下らない額である10億円を、財政調整基金及び減債基金にそれぞれ積み立てます。剰余については、芸術文化事業を安定的、持続的に行うため、芸術文化基金に8千万円を積み立てるとともに、今後の県有施設の計画的な保全に備え、8億5,797万5千円を県有施設整備等基金に積み立てることとしています。

**(予算外議案)**

次に予算外議案についてです。第86号議案 職員の退職手当に関する条例等の一部改正について、第90号議案 大分県心身障害者扶養共済制度条例の一部改正について、及び第94号議案 大分都市計画事業大分臨海工業地帯大在土地区画整理事業に関する条例の一部改正についての各議案につきましては、成年被後見人又は被保佐人を資格、業務等から一律に排除する規定を適正化する法律が制定されたことに伴い、関係条例の規定の整備を行うものであります。

以上をもちまして、提出しました諸議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議のうえ、御賛同いただきますようお願い申し上げます。